

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic English for the Second Year I		
英文授業科目名	Academic English for the Second Year I		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 電子工学科 知能機械工学科 システム工学科		
担当教官名	山田 直道		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nymd@rg8.so-net.ne.jp	

【主題および達成目標】
<p>火3限：第二次世界大戦後の英国を代表する小説家による傑作短編を丁寧に読んでいきます。いずれも読み易い現代イギリスの口語英語の名文で書かれており、内容を味わいながらその表現を習得します。</p> <p>火4限：現代イギリス口語英語をベースにした3人の女流小説家による短編小説を精読し、各作家の描く世界で何が起きたかを読み解くと同時に、現代英語の多様な口語表現に慣れ親しむことを目指します。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
3、4限とも特にありません。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
3、4限とも特にありません。

【教科書等】
<p>3限：横山幸三、田中英史注解『最新イギリス短編集』（Contemporary British Short Stories）成美堂、1300円＋税。</p> <p>4限：蛭川久康編注『現代英国女流短編選』（Murdoch, Spark and Bowen）英潮社フェニックス。</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

3、4限とも、事前に配布したプリントを参考にレポーターに和訳をお願いし、英語表現や文法上の疑問点を解決します。その上で文脈意識を高め大きな展望の上にとって作家の世界を垣間みます。基礎的な英語の知識を再確認しながら丹念に英語を精読する全員参加型の演習形式を意識した授業となるでしょう。従って授業のスピード感を確保するために予め数名の諸君に訳読の担当をお願いしますが、授業では全員に質問が行きます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

3、4限とも、出席、質問への答え、発表内容などの平常点が30%、期末テストの結果が70%の割合で総合的に評価します。ともに、現代イギリス口語英語表現にいかにか馴染んだかに基準をおきます。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。授業中に適宜質問を受け付けます。

【学生へのメッセージ】

少なくとも授業前の予習が必須です。それを授業でチェックし疑問点のないようにして下さい。

【その他】

特にありません。